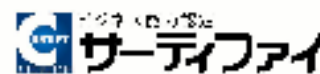


平成 20 年 12 月 24 日

各 位



株式会社サーティファイ

**サーティファイ 情報処理能力認定委員会は、当委員会が主催する「情報処理技術者能力認定試験」を、平成 21 年度春期より実施される「基本情報技術者試験」内容に対応すべく、出題範囲を改編する。**

サーティファイ情報処理能力認定委員会(委員長:大岩 元、以下:情報処理能力認定委員会)では、主催する「情報処理技術者能力認定試験」の出題範囲を、平成 21 年度春期より開始される「基本情報技術者試験」の新出題内容に対応すべく改編します。新出題範囲対応となる「情報処理技術者能力認定試験」は、平成 21 年 2 月 1 日(日)実施の「サーティファイ公開試験」より供給されます。

「情報処理技術者能力認定試験」は、基本情報技術者試験の午前試験が免除される「構造改革特別区域における基本情報技術者試験の特例措置」に対応するなど(※以下参照)、基本情報技術者試験との親和性の高さに定評のある検定試験です。今回の改編により、新「基本情報技術者試験」を目指す方にとっては、情報処理技能のスキルチェック、スキルアピールツールとしてだけではなく、本試験に向けた最終の学力チェックとしても非常に有効なツールとなります。

また、試験対応問題集も 12 月 26 日より販売を開始します。ご注文方法等については、サーティファイ Web ページよりご確認ください。

**基本情報技術者試験の構造改革特別区域(IT 特区)での特例措置とは…**

一定の条件を満たすことで国家試験である「基本情報技術者試験」の午前試験が免除される特例措置です。

一定の条件とは、

1. 自治体が当該特例措置を受けるための「構造改革特別区域」(IT特区)に認定される
2. サーティファイ情報処理技術者能力認定試験※1を取得する
3. サーティファイ情報処理技術者能力認定試験を取得後、認定された団体で規定の講座(午前試験免除講座)を受講する
4. 「修了認定に係る試験」を受験する など

※1 一定の基準を満たした民間資格であり且つ、IT特区講座(午前試験免除講座)の履修条件となることが必要です。サーティファイ情報処理技術者能力認定試験は、この民間資格として多くのIT特区で導入されています。

※2 当該制度の認定を受けられるのは、自治体のみとなります。平成 20 年 12 月時点では、埼玉県や大阪市を始めとする全国 45 自治体にて活用されています。

**情報処理技術者能力認定試験**  
**<1級第1部、2級第1部、3級>**  
**出題範囲**

※網掛けの部分が、平成20年度第3回からの新認定試験で追加になります。

出題内容		1級	2級	3級
テクノロジー系	1 基礎理論			
	1 基礎理論			
	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など	○	○	○
	確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など	○	○	×
	符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など	○	○	×
	伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）	○	○	○
	2 アルゴリズムとプログラミング			
	データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど）	○	○	○
	流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など）	○	○	○
	プログラム構造、データ型など	○	○	×
	プログラム言語（種類と特徴など）	○	○	○
	2 コンピュータシステム			
	3 コンピュータ構成要素			
	コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど	○	○	○
	主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど	○	○	○
	補助記憶装置や媒体（種類と特徴、性能計算など）	○	○	○
	入出力インタフェース（種類と特徴など）	○	○	○
	入出力装置（種類と特徴、性能計算など）	○	○	○
	4 システム構成要素			
	システムの利用形態、システム構成など	○	○	○
	クライアントサーバシステム、RAID など	○	○	○
	システムの性能、信頼性、経済性など	○	○	×
	5 ソフトウェア			
	オペレーティングシステム（タスク管理、記憶管理など）	○	○	○
	ミドルウェア（API、ライブラリ、シェルなど）	○	○	○
	ファイルシステム（ディレクトリ、ファイル編成など）	○	○	○
	言語処理ツール（コンパイラ、リンカ、ローダなど）	○	○	○
	CASE、エミュレータ、シミュレータなど	○	○	×
	6 ハードウェア			
	基本論理回路、組合せ回路など	○	○	○
	3 技術要素			
	7 ヒューマンインタフェース			
	GUI、帳票設計、画面設計、コード設計など	○	○	○
8 マルチメディア				
オーサリングツール、JPEG、MPEG など	○	○	○	
9 データベース				
データベースのモデル、DBMS など	○	○	×	
データ分析、データベースの設計、データの正規化など	○	○	×	
データ操作、SQL など	○	○	×	
排他制御、障害回復、トランザクション管理など	○	○	×	
データウェアハウス、データマイニングなど	○	○	×	

出題内容		1級	2級	3級
テクノロジー系	10 ネットワーク			
	インターネット（各種プロトコル、IPアドレスなど）	○	○	○
	LANとWAN（トポロジ、回線、DSU、モデムなど）	○	○	○
	LANのアクセス制御方式、LAN間接続装置など	○	○	×
	OSI基本参照モデル、HDLC、ネットワーク性能など	○	○	×
	ADSL、FTTH、CATV回線、イントラネットなど	○	○	○
	11 セキュリティ			
	暗号技術、認証技術、利用者確認など	○	○	○
	ウイルスの種類と特徴、ウイルス対策など	○	○	○
	不正アクセス、不正侵入、不正行為の種類と対策など	○	○	○
	リスク管理、セキュリティ評価基準など	○	×	×
	4 開発技術			
	12 システム開発技術			
	業務分析と要件定義（DFD、E-R図、UMLなど）	○	○	○
	モジュール分割と独立性、オブジェクト指向など	○	○	×
構造化プログラミング、コーディングなど	○	○	○	
テスト手法、レビュー手法、デバッグツールなど	○	○	○	
ソフトウェア保守（予防保守、修正保守など）	○	×	×	
13 ソフトウェア開発管理技術				
ソフトウェア開発手法（スパイラルモデルなど）	○	○	○	
SLCP、リバースエンジニアリングなど	○	○	×	
マネジメント系	5 プロジェクトマネジメント			
	14 プロジェクトマネジメント			
	コスト見積り（ファンクションポイント法など）	○	○	×
	日程計画（アローダイアグラムなど）	○	○	×
	人的資源管理（要員計画、要員補充など）	○	×	×
	進捗管理、品質管理、コスト管理など	○	○	×
	6 サービスマネジメント			
	15 サービスマネジメント			
	ITIL（サービスサポート、サービスデリバリーなど）	○	○	×
	コンピュータの運用・管理、システム移行など	○	○	×
ファシリティマネジメント（UPS、施設管理など）	○	×	×	
16 システム監査				
システム監査（システム監査技法、監査証拠など）	○	×	×	
ストラテジ系	7 システム戦略			
	17 システム戦略			
	業務プロセス（業務改善、BPR、SFAなど）	○	○	×
	ソリューションビジネス（SaaS、SOAなど）	○	×	×
	18 システム企画			
	システム化構想、開発費用対効果、要件定義など	×	×	×
	8 経営戦略			
19 経営戦略マネジメント				
経営戦略手法（コアコンピタンス、PPMなど）	○	○	×	
マーケティング理論、マーケティング手法など	○	○	×	
ビジネス戦略と目標・評価（CSF、KPI、KGIなど）	○	×	×	

		経営管理システム (CRM、SCM、ERP など)	○	○	×
出題内容			1級	2級	3級
ストラテジ系	20	技術戦略マネジメント			
		技術経営 (MOT) 、コア技術、ロードマップなど	×	×	×
	21	ビジネスインダストリ			
		ビジネスシステム (POS システム、EOS など)	○	○	○
		エンジニアリングシステム (CAD、CAM、MRP など)	○	○	○
		e-ビジネス (EC、EDI、RFID など)	○	○	○
	9	企業と法務			
	22	企業活動			
		経営組織 (事業部制組織、CIO など)	○	○	×
		ヒューマンリソース (OJT、CDP、MBO など)	○	○	×
		経営管理と問題発見技法 (PDCA、KJ 法など)	○	○	×
		OR・IE (線形計画法、品質管理、在庫問題など)	○	○	×
		会計・財務 (財務会計、管理会計、リースなど)	○	○	×
	23	法務			
		知的財産権 (著作権、産業財産権など)	○	○	○
		労働者派遣法、不正アクセス禁止法、製造物責任法など	○	×	×
		ガイドライン (ソフトウェア管理ガイドラインなど)	○	○	×
標準化団体 (JIS、ISO、IEEE など)		○	○	○	
各種コード (文字コード、QR コード、ISBN コードなど)		○	○	×	
補助単位 (T、G、M、k、ミリ、マイクロ、ナノ、ピコ)		○	○	○	
国際規格 (ISO 9000 シリーズ、ISO 14000 シリーズなど)	○	×	×		

情報処理技術者能力認定試験

<1級第2部、2級第2部>

出題範囲

※網掛けの部分が、平成20年度第3回からの新認定試験で追加になります。

出題内容		1級	2級
1	コンピュータシステムに関すること		
①	ハードウェア 数値・文字・画像・音声の表現、処理装置、記憶装置と媒体、入出力装置、命令実行方式、アドレス方式、システム構成など	○	○
②	ソフトウェア OS、ミドルウェア、アプリケーションソフトウェア、記述言語、モデリングなど	○	○
③	データベース データベースの種類と特徴、データモデル、正規化、DBMS、データベース言語 (SQL) など	○	○
④	ネットワーク ネットワーク構成、インターネット・イントラネット、プロトコル、データ通信、伝送制御など	○	○
2	情報セキュリティに関すること 情報セキュリティポリシー、データベースセキュリティ、ネットワークセキュリティ、アプリケーションセキュリティ、物理的セキュリティ、アクセス管理、暗号・認証、ウイルス対策など	○	○
3	データ構造及びアルゴリズムに関すること 配列、リスト構造、木構造、グラフ、整列、探索、数値計算、文字列処理、図形処理、ファイル処理、計算量、誤差など	○	○
4	ソフトウェア設計に関すること ソフトウェア要求分析、ソフトウェア方式設計、ソフトウェア詳細設計、構造化設計、モジュール設計、オブジェクト指向設計、Webアプリケーション設計、テスト計画、ヒューマンインタフェースなど	○	×
5	ソフトウェア開発に関すること プログラミング (C、COBOL、Java、アセンブラ言語、表計算)、テスト、デバッグなど ※選択問題のプログラム言語に表計算を追加	○	○
6	マネジメントに関すること		
①	プロジェクトマネジメント 見積手法、品質管理、工程管理、日程計画、コスト管理など	○	○
②	ITサービスマネジメント サービスサポート (サービスデスク、問題管理、変更管理)、サービスデリバリ (サービスレベル管理、キャパシティ管理、システムの性能、システムの信頼性)、システムの運用管理など	○	○
7	ストラテジに関すること		
①	システム戦略 情報システム戦略、マーケティング、ビジネスモデルなど	○	○
②	経営・関連法規 ビジネスマネジメント、業務プロセス、組織運営、企業会計、関連法規、標準化、OR など	○	○

### 【1 級第 2 部出題形式】

問	出題テーマ	選択・必須
問 1	ハードウェア、ソフトウェア、データベース、情報セキュリティ、ソフトウェア設計	5 問中 3 問選択
問 2		
問 3		
問 4	プロジェクトマネジメント、IT サービスマネジメント	
問 5	システム戦略、経営・関連法規	
問 6	データ構造及びアルゴリズム	1 問必須
問 7	C	5 問中 1 問選択
問 8	COBOL	
問 9	Java	
問 10	アセンブラ言語	
問 11	表計算	

(各 5 設問)

### 【2 級第 2 部出題形式】

問	出題テーマ	選択・必須
問 1	ハードウェア、ソフトウェア、データベース、情報セキュリティ	4 問中 3 問選択
問 2		
問 3		
問 4	プロジェクトマネジメント、IT サービスマネジメント、システム戦略、経営・関連法規	
問 5	データ構造及びアルゴリズム	1 問必須
問 6	C	5 問中 1 問選択
問 7	COBOL	
問 8	Java	
問 9	アセンブラ言語	
問 10	表計算	

(各 4 設問)